

ハラスメントアンケートの結果について

1. アンケートの概要

- ▶ ハラスメントの発生を未然に防ぐための啓発・取組の強化や、再発防止に向けた新たな取組の一環として、職員間のハラスメントに関する認識等について、現在の所属における事案を対象とし、令和5年12月にアンケートを実施した。

- ・ アンケート実施期間 令和5年12月1日～12月22日
- ・ アンケート対象者数 約10,400人(常勤:8,600人、非常勤:1,800人)
- ・ アンケート回答者数 4,421人(常勤:3,750人、非常勤: 671人)
- ・ アンケート回答率 42.5%(常勤: 43.6%、非常勤: 37.3%)

【備考】

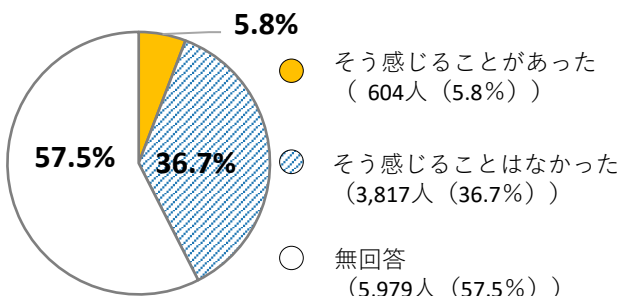
※本アンケートは、回答者の認識等について記入したもの。

※ハラスメントの認定にあたっては、被害を受けたとされる方の意見だけでなく、行為者とされる方への確認や、当該ハラスメントに関する客観的な事実やその状況等を複合的に考慮する必要があるため、回答のすべてがハラスメントと断定するものではない。

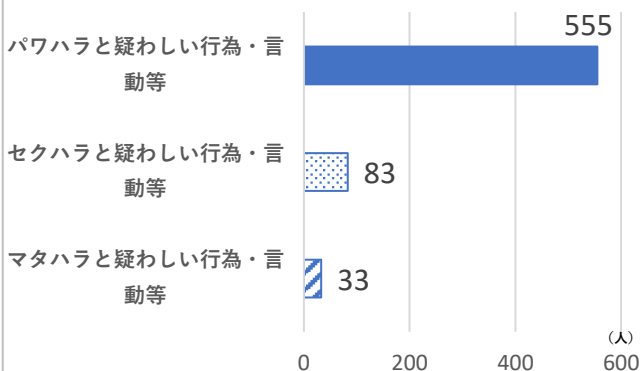
2. アンケート実施結果の概要

- ▶ 「自分自身が他の職員からハラスメントと疑わしい行為・言動等を受けたと感じたことがあった」と回答した職員は604人(対象者数の5.8%)。
- ▶ 回答のうち、「パワハラと疑わしい行為・言動等」が最も多く、その主なものは以下のとおり。(複数回答有)
- ・【(脅迫・名誉棄損・侮辱・ひどい暴言などの)精神的な攻撃】が391人
 - ・【(遂行不可能なことの強制などの)過大な要求】が187人
 - ・【(隔離・無視などの)人間関係からの切り離し】が126人
- ▶ 「ハラスメントと疑わしい行為・言動等を見たり、聞いたり、相談を受けた」という回答も、同様の傾向。

現在の所属で、自分自身が他の職員からハラスメントと疑わしい行為・言動等を受けたと感じたことはありますか。



現在の所属で、自分自身が他の職員から受けたハラスメントと疑わしい行為・言動等はどのようなものでしたか。(複数回答有)



▶ アンケート結果を踏まえ、ハラスメントの防止や適切な対応を行うため、今後、ハラスメント防止に関する研修を実施する等、職場環境の改善に努める。